

○南相馬チャンネル整備事業(総)

3千769万2千円
エリア放送設備(鹿島区)の整備を行い視聴エリアを拡大する。

【補正内容】

- ・送信設備新設
1基(北海道)
- ・送信設備改修
2基(西町、小池)

質 疑

平成24年2月の庁議決定のとおり平成33年度まで実施し、平成32年度までは国庫補助により運営し、最終年度となる平成33年度は市の負担で運営する方針が示されている。平成34年度以降の事業の継続を判断する場合、市民の負担がどの程度になるのか。また、判断の見通しは。

答 弁

現時点での試算では、平成33年度の運営費は約8千万円と見込んでいます。また最終的な判断時期については、これまで平成32年度の早い段階としてきたが、なるべく早期に方針を固めたいと考えています。

○老人福祉センター建設事業(原町区)(⊗)

3億43万7千円
原町老人福祉センターの機能や利便性を向上させるため、新たに建設する。

【事業スケジュール】

- ・平成30年度 用地取得・物件補償・建設工事
- ・平成31年度 建設工事
- ・平成32年度 開所

質 疑

特定の市民だけではなく、幅広い世代が利用できる方がよいと思う。施設の中身について、現段階でどのような方向性なのか。

答 弁

将来的には、高齢者も減少する状況にあることから、集会所について、当初畳張りとしていたが、サロンの運動ができるような場として活用すべく、フローリング化することで考えています。施設全体として、高齢者だけでなく若い世代も含め、幅広い世代に活用していただくということを考えています。

○畜産競争力強化対策整備事業(建)

1億1千323万円
地域の畜産の収益性の向上に資する施設等を一体的に整備する施設の整備に要する経費の一部を助成する。

【事業内容】

豚舎、ふん尿処理施設等の整備

質 疑

規模の大きな養豚事業だが、つまり売り上げをどのくらいと考えているのか。

答 弁

株式会社まえたの売上額だが、実施計画ペーすで平成29年7月が、販売額として1千971万3千円、平成33年7月時点で、8千780万8千円という販売額の目標を設定している。

質 疑

事業を展開するに当たり、どのくらいの従業員を雇用するののか。

答 弁

現在、6人を雇用している。最終的には12人を新たに雇用する予定であり、うち8人ぐらいは地元から採用したい。

○小高区認定こども園整備事業(⊗)

9千250万6千円
幼稚園と保育園の機能を併せ持つ認定こども園を整備する。

【事業スケジュール】

- ・平成30年度 造成工事
- ・平成31年度 建設工事、外構工事
- ・平成32年度 開園

質 疑

開設後の小高幼稚園、小高保育園の跡地利用について、どのように考えているのか。

答 弁

小高幼稚園について、現在小高小学校で行っている放課後児童クラブを移すなど、地域の方々の意見を伺い今後の利用計画を定めていく。また、小高保育園について、今後の活用については、地域の意見を聞きながら案をまとめいく考えである。

○在宅保育支援事業(⊗)

8千496万円
多様な保育環境を支援するため、家庭において保育を行っている保護者に対し、在宅保育支援金を交付する。

【支給額】

対象児童一人につき月額1万円

質 疑

支給対象者について、保育園に入園できる生後9週目(57日)から満3歳に達するまでとした理由は。

答 弁

9週目については、労働基準法の中で出産日から8週間は産後休暇と定められ、職場に復帰するなど最も早い産後明けは生後57日ということから、生後9週目と設定した。3歳については、学校教育法において、3歳になった段階で幼稚園に入園することができるという規定があることから、終期を3歳と定めた。

質 疑

受付と合わせて行う相談業務の目的は。

答 弁

在宅保育の支援という視点で、お金だけを支

給するのではなく、精神面の支援ということで、例えば育児に関する困りごと、悩みなどの解消という目的をもって、健康づくり課と協力しながら対応していく考えである。

質 疑

この事業について、ばらまきなどではないかという批判も一部にある。多様化している保育の支援というところで、家庭で行っている保護者に対して支援金を支給することは良い取り組みと思うが、まずは1年行い、その中で検証し、次年度以降もしっかりと対応する必要があると思うが。

答 弁

幼稚園・保育所に入っている方については、無料化という支援を受けている一方で、在宅保育をされている方については、これまで何の支援もなされていないことから、支援することにより更に保育環境が充実していくと思う。また、単年度、2年度で終わらせるとは、永続的に続けていく努力をしていきたい。

○多様な働き方と人づくり支援事業(建)

5千10万4千円
時間や場所にとらわれない働き方などの普及を図り、育児や介護などで働いていない女性など非労働力人口からの労働力を増やすため、講座を開講する。

また、働く意欲のある方のキャリア形成支援やテレワーク等で働く方のワークスペースとしての拠点を中心市街地の空き店舗を活用して整備する。

質 疑

人手不足といわれる医療、福祉、製造業3業種の人手不足がどのように改善されるのか。

答 弁

事業を実施する理由は、現在、南相馬市に居住する方々で働いていない非労働力人口と言われている、家事をしている方が3千500名ほど、またその他の方で1千200名ほどいることがわかった。この方たちをターゲットとして、少しでも社会に出てきて頂くような支援をしていくという内容のものである。

○社会資本整備総合交付金事業(橋梁維持)(建)

8千200万円
市道橋の維持修繕を実施する。

【補正内容】

橋梁架替工事(小高区 琵琶橋)

質 疑

今回の琵琶橋の修復工事により、小高区の経済、市民の利便性の向上を考えたときに、どのような位置づけになるのか。

答 弁

震災前は車も歩行者も通れる状況であったが、震災により不可能になった。この橋梁の修復は、小高区の中央部を流れる河川の南側と北側を結ぶものであり、地域間の交流を図るものになる。

質 疑

この橋の完成とあわせて、河川敷も整備をする必要があるのではないのか。

答 弁

相馬野馬追に向けて美化活動を行う計画もあるが、県と連携をとりながら、河川の美化について努めていきたい。

○リノベーションまちづくり推進事業(建)

988万8千円
市街地の遊休資産を活用した民間資金による民間主導のまちづくり手法を学ぶ機会をつくり、自ら事業を行う人材の発掘や育成を行うため、市民向けの講演会やワークショップを開催する。

質 疑

KPI、いわゆる重要業績評価指標について、どのような数値を、どのくらいの目標として掲げて取り組むのか。

答 弁

多様な働き方と人づくり支援事業で説明した数値の中に、含まれているが、このリノベーションまちづくり推進事業で、平成30年度が1件、平成31年度が3件、平成32年度が3件の3年間で計7件の新たな起業、新しい店舗の開店等为目标として取り組む。



琵琶橋



みんなの遊び場